

誰もが地域であたりまえに暮らせるために

# TOMUTE MAGAZIN

<https://tomutenomori.or.jp>

2024 YEAR  
MAY & JUNE  
No.229



イオンが全国展開している社会貢献事業の「黄色いレシートキャンペーン」ですが、とむての森はイオン北見店様のキャンペーンスタート当初、いの一に登録をさせていただきました。毎月11日には、食品売場の近くに番号のついたBOXが置かれます。もちろんとむての森は1番BOXです!!多くのお客様が1番のBOXに黄色いレシートを入れてくださったおかげで、放課後等デイサービスの3事業所に療育玩具や知育玩具を購入することができました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。これからも毎月11日はイオンでお買い物!黄色いレシートは1番BOXへ!どうぞよろしくお願い致します。



4月2日、北見中央ライオンズクラブ様で助成金および寄贈品の贈呈式があり、代表の平賀が出席させていただきました。平成28年から毎年頂いている会員の皆様からのご支援も、今年で9年目となります。助成金は、今年もとむての森主催の「映画上映会」に活用させていただきます。寄贈品も、とむての森の各事業所の活動に活用させていただきます。北見中央ライオンズクラブ 飯田会長様をはじめ会員の皆様、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



たくさんの  
ありがとうを  
伝えたい  
I Want To Say  
A Lot Of  
THANKS

4月1日、新年度スタートの日に、今年もシバヤマ電器様より大量のトイレトペーパーの寄贈をいただきました。今回で3回目の寄贈となるトイレトペーパーは、毎日通所される多くの利用者さん、スタッフのために、使わせていただいています。シバヤマ電器様の他にも、多くの会員の皆様



が、定期的にトイレトペーパー、ティッシュペーパー、アルミ缶、ウエス、洗剤、おもちゃ、お菓子、野菜、果物、肥料 etc... この紙面には掲載できないほど、たくさんの寄贈をいただきますこと、感謝しかありません。コロナ禍にあっても、まだまだマスクが外せない今でも、多くの皆様に支えられてとむての森は活動を続けることができます。これからも皆様の応援に応えられる活動を続けてまいります。心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



3月、マルハン端野店 原田マネージャー様によりたくさんのお菓子等の寄贈をいただきました。このお菓子等は、マルハン端野店、北見店にご来店されるお客様からの寄贈を取りまとめて贈ってくださるものです。年に何度も寄贈を頂いており、放課後等デイサービスの子供たちのおやつや、成人利用者さんの給食のデザートやおやつに使わせていただいています。定期的に寄贈をいただけること、応援していただいていることに心より感謝いたします。マルハン端野店、北見店のスタッフの皆様、そして毎回寄贈して下さるお客様、ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

皆様からたくさんのご寄付をいただきました。ご協力に感謝し、大切にに使わせて戴きます。ありがとうございました。

- 西川涼太様 ・アルミ缶、リングブル、トイレトペーパー、ティッシュペーパー
- 三輪久美子様 ・アルミ缶
- ときわホルモン様 ・台所用洗剤、タオル、スポンジ
- 柴山ひみ子様 ・アルミ缶、タオル
- 乾夏樹様 ・トイレトペーパー、ティッシュペーパー
- 上西由美子様 ・トイレトペーパー、ティッシュペーパー、ウエス
- 瀬口春華様 ・トイレトペーパー、ティッシュペーパー、アルミ缶
- 中川匠様 ・ウエス、台所用洗剤
- 馬淵由美様 ・トイレトペーパー、ウエス、ドリップコーヒー
- 清尾南海子様 ・洗濯用洗剤、台所用洗剤、スポンジ、玉ねぎ
- 喜多村恒夫様 ・スピーカー
- 宮林幸子様 ・アルミ缶、厚紙、折り紙、トイレトペーパー、ティッシュペーパー
- 本田千鶴子様 ・アルミ缶、肥料、タオル
- 加川晶子様 ・おもちゃのブロック、漫画本
- 小野寺すみれ様 ・お菓子、カレンダー(アトリエ資料)
- 匿名希望様 ・マスク、タオル、使い捨てエプロン、文具いろいろ

- 遠藤雅様 ・絵の具
- 笹原竜太様 ・タオル、リングブル
- シバヤマ電器様 ・トイレトペーパー
- 増田真由美様 ・スキーウェア
- 前田智史様 ・長手、タオル、お米券、図書カード
- マルハン端野店・北見店様 ・お菓子
- 北見中央ライオンズクラブ様 ・助成金(寄付金)  
・トイレトペーパー、ティッシュペーパー、ブランケット、台所用洗剤、ハンドソープ、タオル、コーヒー、事務用品、カレンダー、ゴム手袋、作業用革手袋、石鹸

春を迎え、良い季節となりました。皆さまにおかれましては日頃より、とむての森の活動に対してご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。当法人も今年度、設立から20年の節目を迎えます。特別なイベントは実施しませんが、今年度取り組む各種事業を20周年記念事業として位置付け取り組むほか、ベーカリーカフェローフなどで生み出す新たな製品についても20周年記念として取り組んでいく見込みです。なお、相手先の希望とマッチングすること

が前提になりますが、現在も東南アジアの大学からのインターン生を1年間受け入れる取り組みを進めており、実現すれば道内の福祉事業所としては初めてのインターン生受け入れになると考えております。人材不足が叫ばれる中ではありますが、技能実習生ではなくインターン生の受け入れから始めることで、外国人材受け入れのノウハウを蓄積することと合わせて、当該国の教育機関とのパイプを構築しながら優秀な人材確保と定着を着実に進めていく考えです。

今後とも、とむての森は社会の課題解決を進めながら取り組みを重ねてまいりますので、今年度も更なるお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。さて、今年度より郵送費の高騰などに対応するため、とむての森からの通信が隔月発行に変わります。こちらの方もご理解をいただきたく、お願い申し上げます。



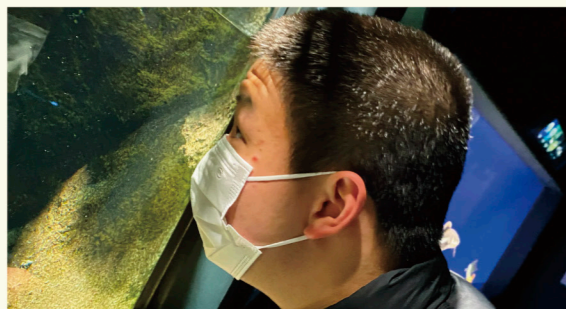


### Events イベント

移動支援事業所「とろっこ」  
文：豊嶋泰輔

北海道の長い冬が終わり春の訪れです。振り返って…3月の移動支援はイベントを実施しました。一つは映画鑑賞会。これはコロナ禍ではなかなか実現出来なかった複数人数でのイオンシネマでのイベントです。今回の参加者は成人3名。ドラえもんの新作を観ました。まずは話し合いながら座席を決めてチケット購入。そしてグッズ、飲食物はお財布と相談しながら各自好きなものを買いました。上映前には「携帯電話の電源切ったよね？」と利用者さん同士で確認し合っていたのが印象的でした。支援員が言う前にそれぞれが鑑賞マナーを意識して気を付けられていたと思います。これは素晴らしいことです。帰りの車中では作品の感想を言い合ったりして終始和やかな雰囲気です。これが出来ました。

同じく3月、児童期の高校3年生を対象とした卒業イベントを開催しました。今回の行き先は根根湯方面。まず、市内メッセにある「たにぼん」でお菓子を購入しました。遠足気分でお出かけです。目的地の一つ、道の駅おんねゆ温泉では水族館でイトウを見ました。しかし利用者さんはドクターフィッシュやカメのコーナーの方が気になったりして。何にハマるかは行ってみたいとわからないものですね。そして塩別つつる温泉へ。食事の後はゆっくり入浴の時間をとりました。始まる前はみんなで行動できる心配な面もありましたが、終わってみれば全く問題なく予定通りに回ることが出来ました。これまでの移動支援の総まとめのような内容でしたが、楽しんで頂けたなら幸いです。なかなかイベントを企画できなかったり、場所や内容を制限されたここ2年ほどは我慢することが多い期間でした。これからはこういった複数人数でのイベントも開催していければと思います。もし内容や行き先などご希望があればまずは豊嶋までご相談ください。宜しくお願いします。



### First storm of spring 春いちばん

みんなの畑 こんね 文：佐藤千鶴子

4月に入り、春らしいポカポカ陽気な日が続きました。それでもまだまだ安定した気温とはならず、20℃と暖かい日の次の日には気温が2℃と全く気温が上がらず雪が降ったりすることもありました。それでも4月下旬にもなると日中の気温が20℃を超える日も多くなり、桜の便りがちらほら…。この会報が皆様に届く5月上旬ころには、ここオホーツク地方でも桜が見頃を迎えているはずです！花粉の飛び始める時期でもあるので、春が苦手…。と言う人も多いと思いますが、この時期だけしか見ることができない景色、香りなど春一番を満喫したいと思います。こんねの畑でも本格的に畑作業が始まりました。春一番の作業、種蒔きに土おこし、鉢上げ、土入れとビニールハウス内での作業がメインとなっています。比較的のんびりだった冬場の作業とは違い、毎日バタバタしていますが、忙しいが辛いではなく、忙しいけど楽しい！と思ってもらえるように毎日メンバーとコミュニケーションをとりながら活動しています。畑での作業はたくさんあります。集中力が必要な細かな作業もあれば、単純作業もあつたり、重いものを運んだり体力がいる作業もあります。メンバーそれぞれが出来る事も増え、自分から意欲的に作業に取り組むこともあります。作業着を着こなし、道具も使いこなし、楽しく取り組んでいる姿は見えてとてもうれしく、私の癒しにもつながっています。4月からはメンバーが一人増え、賑やかさもパワーアップしています。もちろん最初はメンバー皆が緊張気味でしたが、1週間もしたら馴染み、楽しく活動している姿にホッとしている今日この頃です。今現在のハウスの中は、4月上旬に種蒔きしたものが少しずつ大きくなり、10cm程に成長しています。トマトにきゅうり、ブロッコリーやキャベツ、葉物野菜と数十種類の苗達がびっしりと並んでいます。この春一番のハウス内の状態も今だけで、私にとっては癒しの景色です。5月、6月…と畑の景色がどんどん変わっていきます。こんねメンバーの畑での活動の様子と一緒に景色の変化などもこの会報でお伝えしていきたいと思っています。今年度もどうぞ宜しくお願い致します。



皆様こんにちは。春の訪れを感じ、気持ちワクワクしてしましますね。そう感じるのは私だけでしょうか。春と云えば、入学や入社の時季ですね。この4月から、生活介護事業所「ほっぶ」に新しい仲間（利用者さん）が加わりました。笑顔が素敵なナイスボーイです。前年度までは新型コロナウイルス感染症予防で入所式は控えていましたが、今年から入所式を再開しました。とは言っても、他の利用者さんと支援スタッフでの式です。昨年できなかった1名も1年遅れで一緒に行いました。皆さん知った仲なので、和やかな雰囲気で行いました。それから半月が過ぎ、新しい仲間は皆と一緒に頑張る作業を行っています。先輩が時々声をかけ教えている様子を見ると、改めて「すごい、さすが」と思う場面が幾度となくみられます。今後も皆さんの素敵な成長を日々実感しながら、支援スタッフも成長し、より良い支援ができるように努めて参ります。



### With a renewed spirit 新たな気持ちで

生活支援事業所「ほっぶ」  
文：喜多村恒夫



先々月号の答えは、清少納言の「枕草子」でした！なんの事かわからない人は先々月号を見てね！

○の春！です！答えは次号にて！

さてはて、今回の挨拶は、何の小説の一節でしょうか？ヒントは、○

さてはて、今回の挨拶は、何の小説の一節でしょうか？ヒントは、○

さてはて、今回の挨拶は、何の小説の一節でしょうか？ヒントは、○

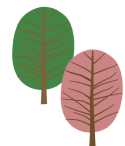


### The middle of the worm is "FIVE PRACTICES" 虫の真ん中は五

ホームヘルプサービス事業所「どんぐり」  
文：鹿野杏介

春、部屋の中を我が物顔に闊歩するワラジムシ、そしてそれを追いかけるゲジゲジ、そしてそれを追い回す鹿野、庭の薄荷を撲滅して以来、家に虫が湧きまくりの鹿野です。最上でもいちばん安あがりの防除方法は、化学薬品ではなくて、ほかの種類の植物なのであるという事を感じ入りました。さてはて、五月と言えはの柏餅、わたくしは昔食べれるもんだと思えば葉っぱを食べようとして噛み切れずブルーになりました。なんで食べられもしない葉っぱに包んでんねんと思いましたが、あれも中のミョウコの水分が飛ぶのを防いだり防虫効果があったりするそうなんです。何でも最新科学が有難がられる昨今、昔からの風習や自然素材に目を向けるのもいいなあとと思う鹿野です。こんな事を申し上げる鹿野も、やっぱり古い人間でござんしょうかね、◎鶴田浩二





# NEXT SEASON

放課後等デイサービス事業所「ほっくる」  
文：田中豪樹

「ほっくる」にも新たなメンバーが増え、ついに新シーズンがスタート。今までは高校生組が多かったのですが、「ほっくる」の新メンバーは小学生が多く、今までは後輩だった子ども達も一気にお兄さん・お姉さんに！！これまでは教えてもらったり、助けてもらっていた側のメンバーも、今では後輩たちに教えてあげる「先輩」になっています。新メンバーはワクワクする気持ちと少しの不安など、様々な感情が混じっているのかもしれませんが、それでも「料理をしてみたい。」「妻

い工作をしてみたい。」など挑戦する意欲も感じています。そんな、彼ら彼女らの気持ちを大切にしつつ、次のステップへ、いろいろな経験を楽しんでもらいたいと思っています。保護者の皆さまも、お子さまの新たな挑戦への一歩を応援していただければと思います。

放課後等デイサービス事業所の一瞥  
文：山川圭一

に來所してくださいね(〃〃)☆

新年度が始まり4月からほくおうハウスで過ごすメンバーがガラッと変わりました。今までは女の子の子で7対3の割合でしたが、4月から5対5に。早くもひと月が経ちましたが、スタッフは何曜日にもどの子がくるのか覚えたり、春休み中ということもあり、バタバタしながら大変な日々を送っています(笑) 子ども達はというと、春休み中から朝から利用する子もいますが、以前にもハウスを使っていたり、知っているお友達もいたりするので、案外すんなりとハウスで過ごせています！今年一年、新たなメンバーで、ほくおうハウスで、様々な活動をおこなってまいります。いたらない点も多々あると思いますが、改めて皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします！さて5、6月の活動は、定番の「脳トレ」や「工作」、身体を動かす活動「お楽しみ会・お誕生日会」などの他に、気温が上がってきましたので、天気の良い日は屋外活動もおこなってほしいと思います。体調管理をしっかりして、元気いっぱいに來所してくださいね(〃〃)☆



# New environment. 新しい環境。



## Start of the new term 新学期スタート

放課後等デイサービス事業所「にんぐる」  
文：矢作裕子

こんにちは！新学期がスタートしましたね！ご入学・ご進級おめでとうございます😊 雪が解けてやっと春の兆しかな〜と思えば、4月の入学式直後に真冬に戻ったくらい雪が降りましたね(\*\_\*;)かと思えば…数日後には気温が20℃以上に上昇したり、なんとも気まぐれな天候でこちらの体調なんかお構い無しの日々ですね(笑) 新学期がスタートして早1ヶ月が経ちますが、4月から「にんぐる」のメンバーがガラリと変わって、新1年生や未就学のお子様達がたくさん仲間入りしまし

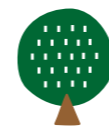
た！幼稚園から学校へと変わったり、進級して教室や先生が変わったりと、生活環境の変化にもまだまだ慣れない時期に「とむて」の利用もあって、子ども達も大変だと思います。それと共に私の脳も老化現象が半端なく進み悲しい現実が・・・子ども達の名前が中々

出てきません。昨年、新入学で仲間入りした子ども達も2年生になりましたが、その成長ぶりはすごいです。保護者の方からは「遊びも集中できずハウスから出るかもしれません」「自宅のトイレ以外はトイレに行けない」などと言ったお話をお聞きしていましたが、今では自ら遊びたい玩具を見つけて遊べるようになり、1人でトイレに行けるようになり、お片付けの

苦手な子どもちよっとの声掛けできるようになり・・・と、その成長の速さに感動しています！これから利用予定のお子さんも数名います。私も子ども達に負けないように、仕事のスキルアップを目指して精進したいと思います♥







### To each his own will. それぞれの意思に寄り添って

就労支援事業所「すてっぷ」 文：田中ちえみ

すてっぷは、昨年度と同じメンバーで2024年度のスタートを切りました。今年度もよろしくお願いたします。この4月から、今までより一層、当事者の『意思を尊重した支援計画』作りや、ご本人の事に対して決定する全ての場面で『ご本人の同意』が必要になりました。厚生労働省のHP「意思決定支援の基本的考え方」によると、『意思決定支援』では、全ての人に意思があるという前提に立って、本人が自分で自分のことを決めるにあたり、一人ひとりに合わせた支援を行うことを大切にします。と書いてあります。自分に置き換えると、急に「あなたはどうしたい？」と聞かれると「え〜と・・・」とどぎまぎしてしまいますが、「折に触れて、周囲の人と確認できる」「必要な時は、修正ができる」ということが、ゆくゆくの「人生を自分で選択できている」という感覚に繋がるのかもしれないと思います。すぐに思いが見つけられない人、うまく言葉に出来ない人、すでに情熱を持って目標に進んでいる人。新しく挑戦したい人にも、今までと同じ安心できる環境を続けたい人にも、それぞれの意思に寄り添って支援していきたいと思います。



### Stacking up 積み重ね

ベーカリーカフェLOAF  
文：戸井田修一



新しい年度も始まり、気持ちを新たにやっつけていこうと思っているのは私だけではないはず・・・年明けにも似たようなことを思っているはずですが、忘れっぽい私には節目に思い出して気を引き締めることが必要です。なんて考えていたら4月は終わり5月になってしまいます。みんなもちろん日頃から作業に取り組んでいますが、トラブルなどがあるといつもと同じようにというのは難しくなります。そういった時のために、普段午前中は何をしたら午後は何をしています。と答えられるように意識付けをして毎日の作業に取り組むようにしています。将来的には自

分で作業を選択し周りの状況も含めて判断などができるようになるというのを目指しています。お菓子作りのように材料を揃え計量して作ることにはできる人が多いですが、お肉や野菜のように物によって大きさや形が違う物を扱うことは難しく、何度もやってみて覚えていくしかないという練習をしています。『わかんないよ〜』と言ったり、無言でどうかな？と考えチャレンジするなど個人個人で取り組み方が違うのでその人に合ったやり方や教え方が必要になります。よくわからないと言った時は簡単に簡潔になど教え方を工夫するとすんなりできることもあります。サンドイッ

ち作りやお菓子作りも最初は難しいと言っていました。今では平気できるようになっていたり『日々の積み重ねが大事なんです。』と自分に言う様にみんなにも話しています。挫けそうになることもあるけどもちょっとずつでもやるのが大事なので頑張ってください。など・・・でもほんとに嫌になつてしまえばもうそれは諦めを切り替えるためにも楽しいことをしまししょう。休憩時間を守らないのは困りますが必要な休憩を取ることが頑張ることと同じくらい大事です。



### Everyday Life in "studio Bremen" ブレメンの日常

文：伊藤栄一

2020年、新型コロナウイルスが流行り出しボツになった企画が今年の2月に急浮上してきた。休みの日に突然着信があり、電話に出てみるとEテレで毎週日曜日放送されている「no art, no life」を担当されている制作会社の方でした。4年前に断念した蛸子陽太さんの撮影を打診され、速攻で快諾。3月下旬に撮影になりました。撮影は2日間。最初こそ緊張と戸惑いから興奮気味の蛸子さんでしたが、徐々にカメラマン、音声スタッフにも慣れ、自分から撮りやすいように身体をずらしたり、間を設けたりと凄く協力的に動いていました。流石に屋になるといつもと違う状況で疲れたようで「ご飯食べます！」と撮影班を待たせる大御所ぶり！2日目は、状況判断と感覚でカメラマンがどこから撮りたいのかを察知し、準備ができるまで暫し待機…。整ったのを確認し、行動に出る！もう大作家のような貫禄とサービス精神旺盛でいつもよりも大きな作品に取り組み始めました。いつもより大きな作品ということは、時間もかかることになり屋に差し掛かりへろへろになりながら撮影を終えました。放送日が決まり、ご本人に伝えると「ライオン見せてください！！」と全然過去に囚われてない感じで、もう彼は次に進んでいました。 2024年4月28日(日) Eテレ 午前8時55分から



別件では、4月30日(火)～6月25日(火)の間、岩見沢アール・ブリュットギャラリー(岩見沢市)にてスクラッチングに取り組んでいる川淵美帆さんと絵の具を筆で叩きながら模様を描く弓山諒さん(今回はビー玉を使用した作品のみ)の2名の作品が展示されます。少し長めの会期になりますので、ぜひドライブしながらお出かけください。【点と線～表現のはじまり～】

6月には札幌市で医療関係のイベントにて清尾あかりさんの特別展が開催されることになっており、現在、作品の額装をおこなっています。次号には、お披露目できると思います。お楽しみに～!

